

# お知らせ

## Information

### シリーズ 消費生活相談⑦⑩ 「マルチ取引」に関する相談

#### ◇事例 (20代女性)

友人から SNS で「今の稼ぎより儲かる」と誘われ、内容がよく分からないまま化粧品のマルチ取引の説明会に参加した。説明会では「必死に働かなんて馬鹿げている。お金さえあれば、働かなくて済む」、「会員になり、化粧品を買って人に紹介し、売れたらマージンが入る」と言われ、儲かるならと思い、その場で会員登録用紙にサインした。しかし、よく考えると、簡単に儲かる話はおかしい。やめたくなったが、どうしたらよいか。

販売会社あてにクーリング・オフ通知をするよう助言し、その方法を説明しました。また、万一、商品が届いた場合には受取拒否することも助言しました。

マルチ取引は、身近な人から誘われ、断りにくいという特徴があります。しかし、「簡単に儲かる」といった話を鵜呑みにせず、契約の意思が無い場合はきっぱりと断りましょう。判断に迷う場合は、一人で判断せず、家族などに相談しましょう。

#### ◎ 消費生活相談 (無料) を行います。ご利用ください。

■ 日 時 5月11日(水) (毎月第2水曜日)

午前10時～正午、午後1時～午後4時

■ 場 所 役場2階相談室201 (4月から場所を変更しました。)

■ 問い合わせ先 産業観光課商工労政係 ☎(48)1111 (内1226・1227)

※ 知多半田消費生活センター (クラシティ半田3階市民交流センター内、駐車場1時間無料) でも消費生活相談を行っています。

月曜日～金曜日 (祝日、クラシティ半田閉館日を除く) 午前9時30分～午後4時30分 ☎(32)2444

### 成年後見制度巡回相談

5月6日(金)

場 所 中央公民館308号室

時 間 午後1時30分～午後4時30分

NPO法人知多地域成年後見センターでは、成年後見制度巡回相談(事前に予約が必要)を毎月行っています。

#### ■ 問い合わせ先

半田後見事務所(半田市福祉文化会館内)  
☎(21)0811

### 5月の相談

#### ■ 人権・行政・心配ごと相談

19日(木)

場 所 中央公民館308号室

時 間 午前9時30分～午前11時30分

※ 電話での相談も受け付けます。

#### ■ 無料法律相談 (事前に予約が必要)

19日(木)

場 所 役場1階相談室101

時 間 午後1時～午後4時

#### ■ 問い合わせ先

住民福祉課 ☎(48)1111 (内1122)

### ● 第十回特別弔慰金の支給について

戦後70周年に当たり、戦没者等の遺族の皆さまに第十回特別弔慰金が支給されます。

#### ■ 対象者 戦没者等の死亡当時の遺族

※ 平成27年4月1日(基準日)において「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」等の受給権を有している方(戦没者等の妻など)がいないことが条件となります。

#### ■ 支給順位 次の順番による先順位の遺族一人に支給されます。

(1) 基準日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方

(2) 戦没者等の子

(3) 戦没者等の①父母②孫③祖父母④兄弟姉妹

※ 戦没者等の死亡当時、生計関係を有していることなどの要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。

(4) 上記(1)から(3)以外で戦没者等の3親等内の親族

(戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。)

■ 支給内容額面 25万円、5年償還の記名国債

■ 請求期限 平成30年4月2日

※ 申請期限を過ぎると特別弔慰金を受給できなくなります。ご注意ください。

#### 請求・問い合わせ先

住民福祉課 ☎(48)1111 (内1121)

### ● 災害救援金にご協力ありがとうございます

役場をはじめ町内7カ所で2月8日～3月15日まで「2016年台湾地震救援金」を集めました。

集まった495円の救援金は、日本赤十字社愛知県支部へ届けました。皆さまのあたたかいご支援ありがとうございました。

引き続き「東日本大震災義援金」を受け付けています。ご協力をお願いします。

#### 問い合わせ先

住民福祉課 ☎(48)1111 (内1121)

### ● ご寄付ありがとうございます

ヘアデザインフルハウス 様

英比保育園へ大型絵本6冊をご寄付いただきました。



平成28年南部学区厄歳一同 様

南部小学校へ会議用テーブル24脚をご寄付いただきました。

### 編集後記

男女共同参画講演会の中で出た「毎日料理をする共働きの男性は2割」という話。2割の男性は東先生の言う「やりくりの力」に優れ、きっと家事も仕事もバリバリなのでしょう(イメージ)。私は、多数派の8割に所属しているのにうれしくないのはそんなできる男性に対しての劣等感からでしょうか。料理など家事のできる男性が増え、男女関係なく活躍できる社会になるのは素敵なこと。男性にとって、これからが“家事場の底力”の見せ所ですね!